

## 性被害に関するアンケート調査

特定非営利活動法人女性ヘルプネットワーク

このアンケート調査は、ファイザープログラム助成金によっておこなっております。

2011年5月10日

## 調査協力をお願い

私共、特定非営利活動法人女性ヘルプネットワークでは、1997年4月より女性に対する暴力の相談を受けて参りましたが、98年には性被害体験者の自助グループ「ひなたぼっこ」を窓口として、共に協力をして、相談活動は元より、ワークショップ開催や本の作成も行いました。

これまで国内では、性被害を経験した女性の性や、異性との関係に対して、ご本人やその周囲にどのように影響したのかについて、明らかにされたことがありません。しかし、被害経験によって、自身の身体観に影響があったり、異性との距離感や性に戸惑いを覚えたりするということについては、カウンセリング記録などによって明らかになってきています。

今まで誰にも相談することができなかった被害後の性や異性との関係について、相談できる支援体制のしくみづくりの提案、さらに、結果報告を広範囲に広げ、被害者支援の一助としたいと願っております。

なお本調査は「2010年度ファイザープログラム～心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援」より助成金を受け、「性的虐待体験者が性産業で働く理由とその実態調査」として行います。

アンケート調査は次のように行いたいと考えております。

- ①本調査での「性被害」とは、身体接触のみだけでなく、望まない性的経験や言葉によるからかいを含めた性的傷つき経験として考え、「性産業体験者」とは、性産業(売春を商売としている業者)もしくは援助交際を含む類似行為体験者と考えております。
- ②答えたくない項目がありましたら、無理に回答を求めるものではありませんので空欄のままご提出ください。
- ③報告書の形になるまでは、男性の目にふれることは一切ありません。
- ④御協力いただいた個人を特定したり、研究目的以外に使用したりすることはありません。
- ⑤アンケート集計が終了した後、記述されたすべてのアンケートに関してはプライバシー保護のため焼却する予定です。スタッフ一同、細心の注意を払って取り扱わせていただきます。

アンケートは7月31日必着で郵送、FAX、メールでお送りください。集計し12月には報告書としてまとめられます。

他人には話したく経験をお聞きすることになりますが、本調査研究にご理解とご協力をいただければ幸いです。ご質問やご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

(連絡先)

特定非営利活動法人女性ヘルプネットワーク

担当：野口真理子

事務所

802-0034

北九州市小倉北区須賀町13-1

TEL & FAX : 093-541-5805

E-MAIL : [jd3rm9@bma.biglobe.ne.jp](mailto:jd3rm9@bma.biglobe.ne.jp)

## 性被害経験に関する調査

回答は○や記述でお書きください。

【重複回答可】と書かれた箇所は、複数に○をつけられてかまいません。  
質問は全員同じですが、お答えの違いによって別の質問がある場合があります。  
全て回答する必要はありませんので、辛くない程度でお答えください。

Q 1 あなたのことをお伺いします。現在の年齢を教えてください。

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	それ以上

Q 2 あなたは現在婚姻関係に相当するパートナーがいますか。また子どもはいますか。

パートナーがいる	いない

子どもがいる	いない

Q 3 あなたは、これまでに性的な事柄でイヤな経験をしたことがありますか。

ある	ない

◇あると答えた方へ

それはどの年齢ですか。番号でお答えください。

(1) ~7才 (2) ~12才 (3) ~15才 (4) ~18才 (5) ~25才 (6) 26才~

年齢	覚えていない

Q 4 これから質問する内容は、あなたのこれまでの経験の中でお答えください。  
以下の質問のような経験をしたことがありますか。

質問項目	ある	ない
①お尻や胸が大きい小さい、形が良い悪い等のことを言われたことがある		
②性的な話題を聞かされたり、話すように言われたりしたことがある		
③ポルノビデオや雑誌を見せられたり、見るように言われたりしたことがある		
④裸を見られたり、覗かれたり、写真に撮られたりしたことがある		
⑤相手の身体の一部や裸をさわらせたり、見せられたりしたことがある		
⑥スカートをめくられたり、裸にさせられたりしたことがある		
⑦身体をさわられたり、抱きつかれたりされたことがある		
⑧キスを強制的にされたり、されそうになったりしたことがある		
⑨ホテルに連れ込まれたり、強引に押し倒されたりしたことがある		
⑩性的行為を求められたり、強制されられたりしたことがある		

Q4-1 Q4の質問で「ある」とお答えした方へ、以下の質問に答えられる範囲でお答えください。  
経験した項目ごとにお書きください。

問① それは何歳の頃でしたか。番号をお書きください。

(1) ~7才 (2) ~12才 (3) ~15才 (4) ~18才 (5) ~25才 (6) 26才~

問② その経験はあなたの心と体に影響をあたえましたか。YesかNoかに○をつけてください。

質問項目	問①	問②
①お尻や胸が大きい小さい、形が良い悪い等のことを言われたことがある		Yes・No
②性的な話題を聞かされたり、話すように言われたりしたことがある		Yes・No
③ポルノビデオや雑誌を見せられたり、見るように言われたりしたことがある		Yes・No
④裸を見られたり、覗かれたり、写真に撮られたりしたことがある		Yes・No
⑤相手の身体の一部や裸をさわらせたり、見せられたりしたことがある		Yes・No
⑥スカートをめくられたり、裸にさせられたりしたことがある		Yes・No
⑦身体をさわられたり、抱きつかれたりされたことがある		Yes・No
⑧キスを強制的にされたり、されそうになったりしたことがある		Yes・No
⑨ホテルに連れ込まれたり、強引に押し倒されたりしたことがある		Yes・No
⑩性的行為を求められたり、強制されられたりしたことがある		Yes・No

◇問②で「Yes」とお答えした方へ

未だその思いを抱え、誰にも言えない状況にありますか。

はい	いいえ

◆「はい」とお答えした方へ

「異性が怖くなった」「異性に近づきすぎてしまう」など、ご自身に影響を与えましたか。

【それはどのようなことでしたか。自由にお書きください。】

Q5 ①~⑩の質問項目は、あなたの結婚観に影響をしていると思いますか。

影響している	少ししている	影響していない	わからない

Q6 あなたの職業についてお尋ねします。該当するところに○を入れてください。

仕事がある	仕事がない	求職活動中	働ける状況にない	学生

Q7 これまでにあなたは、性産業での仕事もしくは援助交際を含む類似行為をしたことがありますか。

ある	ない

◇「ある」と答えた方へ

そのことは、今のあなたに何らかの影響を与えていると思いますか。

あった	なかった

Q8 性的傷つきや被害という個人の体験は、性産業で働くことに影響を与えていると思いますか。

思う	少しは思う	全く思わない	わからない

Q9 日本の性被害者への公的機関を含めた相談窓口の対応をどう思いますか。

良い	どちらともいえない	悪い	わからない

Q9-1 相談窓口で、あなたの知っている機関はありますか。ある方は、教えていただけますか。

--

Q10 今後、どのような支援が必要だと思いますか。

--

ご協力をありがとうございました。

\*このほか、性被害や性的傷つき、性産業に関する内容でヒアリングが可能な方は、下記までご連絡ください。

(連絡先)

特定非営利活動法人女性ヘルプネットワーク

担当：野口真理子

事務所

802-0034

北九州市小倉北区須賀町13-1

TEL & FAX : 093-541-5805

E-MAIL : [jd3rm9@bma.biglobe.ne.jp](mailto:jd3rm9@bma.biglobe.ne.jp)